

DPC対象病院及び準備病院における後発医薬品の使用状況について

1 薬剤費における後発医薬品の占める割合

施設類型別 薬剤費における後発医薬品比率

施設類型	平成16年度	平成17年度	平成18年度
平成15年度DPC対象病院(82病院)	2.6%	3.4%	4.1%
平成16年度DPC対象病院(62病院)	5.1%	7.4%	8.8%
平成18年度DPC対象病院(216病院)	—	4.1%	7.1%
DPC準備病院(371病院)	—	—	4.7%
総計(731病院)	3.4%	4.1%	5.4%

2 医療費における薬剤費の占める割合

施設類型別 医療費における薬剤費比率

施設類型	平成16年度	平成17年度	平成18年度
平成15年度DPC対象病院(82病院)	17.2%	17.2%	16.1%
平成16年度DPC対象病院(62病院)	14.0%	13.7%	12.5%
平成18年度DPC対象病院(216病院)	—	14.1%	12.4%
DPC準備病院(371病院)	—	—	13.5%
総計(731病院)	15.8%	15.3%	13.8%

(参考1) 日本における後発医薬品の市場シェア

		平成14年度	平成15年度	平成16年度
後発医薬品の市場 シェア(単位:%)	数量	12.2%	16.4%	16.8%
	金額	4.8%	5.2%	5.2%

出典: 医薬工業協議会調べ

(参考2) 薬価基準収載品目の分類

		品目数	品目数割合	金額シェア
先発品	後発品なし	1,761	13%	48%
	後発品あり	1,430	11%	35%
後発品		6,016	45%	6%
その他の品目(局方品・生薬等)		4,104	31%	11%

出典: 厚生労働省調べ

注1) 品目数は、平成18年4月時点、金額シェアは平成17年9月調査時の数量、薬価による。

注2) 「後発品」とは、薬事法上新医薬品として承認されたもの以外のもの(その他の品目を除く)。

注3) 「その他の品目」とは、局方品、漢方エキス製剤、生薬、生物製剤(ワクチン、血液製剤等)、承認が昭和42年以前のもの。